

「世界中の子どもに教育を」キャンペーン2012は、この9団体が実施しました。  
これらの団体は、市民の立場から途上国での教育支援を行っています。国内では、募金受付、事務局訪問受け入れ、講師派遣、教材・資料の貸し出しをはじめ、さまざまな機会を設け、皆さんの参加を呼びかけています。

| 団体  | 主な活動   | 学校向け教材   |
|---|--|--|
| ACE (エース) TEL: 03-3835-7555 URL: <a href="http://acejapan.org">http://acejapan.org</a>                            | 「児童労働」の撤廃と予防に取り組んでいます。チョコやサッカーボールなど身近なモノを通じて児童労働を伝える活動や、インド・ガーナの子ども支援を行っています。                                | ・「おいしいチョコレートの真実」教材&DVD (販売)<br>・児童労働写真パネル (貸出)<br>・サッカーボール縫い体験キット (貸出)   |
| オックスファム・ジャパン TEL: 03-3834-1556 URL: <a href="http://www.oxfam.jp">http://www.oxfam.jp</a>                         | オックスファムは世界98か国で、貧困から立ち上がる人々を支援し、貧困の根本的な解決を目指し活動する国際協力団体です。   | ・ハンガーバンク (世界の食料格差を体感するワークショップ) ほか<br>・写真展リレー (パネル貸出: 無料)<br>・英語で学ぼう 世界の貧困  |
| 開発教育協会/DEAR TEL: 03-5844-3630 URL: <a href="http://www.dear.or.jp/">http://www.dear.or.jp/</a>                    | 全国の教員やNGOとともに開発教育を推進しています。教育現場で使える教材の作成、ワークショップや教員研修、政策提言に取り組んでいます。  | 「ワークショップ版・世界がもし100人の村だったら」「写真で学ぼう! 地球の食卓」「貿易ゲーム」など教材を多数出版しています   |
| グッドネーバーズ・ジャパン TEL: 03-5848-4633 URL: <a href="http://www.gnjp.org/">http://www.gnjp.org/</a>                      | 子どもは国の未来・国の基礎。子どもがどのような教育を受けるかでその国の未来が変わります。国際NGO グッドネーバーズは、世界中の子ども達が教育を受けられる環境づくりを目指して様々な地域開発を行っています。       | ・パネル「働く子ども達のはなし」<br>・A4~A3のパネルと働く子どもの紹介文   |
| シャンティ国際ボランティア会 TEL: 03-5360-1233 URL: <a href="http://www.sva.or.jp">http://www.sva.or.jp</a>                     | タイ、カンボジア、ラオス、ミャンマー (ビルマ) 難民キャンプ、アフガニスタン、で、おはなし、絵本出版などの図書館活動と学校建設を中心とした教育・文化支援活動を行っています。                      | ・「絵本を届ける運動」日本の絵本に翻訳文を印刷したシールを貼り付ける活動<br>・「リサイクル・ブック・エイド」読まなくなった本の寄付  |
| セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン TEL: 03-6859-6869 URL: <a href="http://www.savechildren.or.jp">http://www.savechildren.or.jp</a> | 国連公認の国際NGO。子どもの権利の実現を目指し、日本を含む世界約120か国で、教育や保健栄養など、子どものための支援活動を展開しています。                                       | ・世界の子どもの状況や国際協力活動、子どもの権利を知るための教材販売<br>・参加型学習プログラムの実施 (事務局訪問受け入れ時)  |
| フリー・ザ・チルドレン・ジャパン TEL: 03-3835-0221 URL: <a href="http://www.ftcj.com">http://www.ftcj.com</a>                     | 1995年、カナダにて当時12歳のクレイグ・キールパーガー少年によって設立された国際協力団体です。子どもが主体的に活動することを大切にしています。つまり、「子どもが子どもを支援する」国際協力を合言葉に活動しています。 | ・リーダシップトレーニング講座<br>・子ども活動応援ウェブサイト<br>・「はたらく子どもシュミレーション・カードゲームセット」(貸出)<br>・子ども向け書籍<br>・「働く子ども紹介パネルセット」貸出  |
| プラン・ジャパン TEL: 03-5481-0030 URL: <a href="http://www.plan-japan.org">http://www.plan-japan.org</a>                 | 途上国50か国で、子どもとともに地域開発を進める国際NGO。途上国の子どもと手紙などで交流するプラン・スポンサーシップが特徴。クラス単位での交流もできます。                               | ・「夢のこいのぼり」ボックス (貸出)<br>・ワークブック「村を動かした男の子」<br>・子どもマガジン<br>・ウェブ教材<br><a href="http://www.plan-japan.org/plan-school">http://www.plan-japan.org/plan-school</a> |
| ラオスのこども TEL: 03-3755-1603 URL: <a href="http://deknolao.org">http://deknolao.org</a>                              | ラオスの人々の絵本、紙芝居などの作品作りを応援し、小学校などに届けています。日本では、日本の絵本にラオス語を貼り、ラオスに送るボランティア活動に多くの人が参加しています。                        | 日本の絵本にラオス語の翻訳を貼ってラオスに送りませんか。貼った人のサイン入り絵本が子どもたち楽しく読まれます。  |

賛同団体 アフリカ地域開発市民の会、国際開発救援財団、チャイルド・ファンド・ジャパン

## 「世界中の子どもに教育を」キャンペーン2012 報告書

世界中のだれもがみんな学校に通って、質の良い教育が受けられるように、世界のNGOが呼びかけているキャンペーンです。



教育協力NGOネットワーク (JNNE)  
世界中の子どもに教育をキャンペーン実行委員会



### 「世界一大きな授業」

日本では全ての都道府県から5万人以上が参加!

世界中の子どもたちが教育を受けられることをめざし、100以上の国と地域で一斉に開催する「世界一大きな授業」。日本では、全都道府県の502校・グループ55,485人、映画上映会に220人、国会議員イベントに66人が参加。合計55,771人と、過去最多の参加人数となりました。

主催: 教育協力NGOネットワーク (JNNE) [途上国で教育協力を行うNGO22団体のネットワーク]

共催: 公益財団法人プラン・ジャパン

特別協賛: 特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

実施: 「世界中の子どもに教育を」キャンペーン実行委員会 [教育協力NGOネットワーク (JNNE) に参加する、次の団体で構成]

ACE、オックスファム・ジャパン、開発教育協会、グッドネーバーズ・ジャパン、シャンティ国際ボランティア会、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、フリー・ザ・チルドレン・ジャパン、プラン・ジャパン、ラオスのこども

協力: 地球対話ラボ

後援: 文部科学省、外務省、国際協力機構、動く→動かす、ボーイスカウト日本連盟、ガールスカウト日本連盟、

「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議

「世界中の子どもに教育を」キャンペーン2012 事務局 <http://jnne.org/gce2012/>

〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋2-11-22-11F プラン・ジャパン内

TEL: 03-5481-0030 FAX: 03-5481-6200 E-mail: [advocacy@plan-japan.org](mailto:advocacy@plan-japan.org)



日本で

## 映画上映会からスタート。幼稚園児から大学生、国会議員も参加。

4月15日、84歳で小学生となったケニアの男性の実話をもとにした映画『おじいさんと草原の小学校』の上映会に220人が参加して、「世界中の子どもに教育をキャンペーン2012」はスタート。翌16日～30日、全都道府県の502校・グループ55,485人が参加して、「震災から見てきた教育の大切さ」をテーマに、日本と世界とのつながり、スマトラ島沖地震(2004年)被災地のインドの子どもの活動、途上国の教育の現状を学ぶ「世界一大きな授業」を実施しました。

映画上映会

JICA地球ひろば(東京)



小学生

燕南小学校(新潟)



中学生

扶桑中学校(愛知)



高校生

平安女学院(京都)



大学生

昭和女子大学(東京)



### 日本の子どもたちの声

- ◆同じ子どもなのに、学校に行ける子と行けない子がいて、大人は何とも思わないのだろうか。
- ◆「世界一大きな授業」をやって、インドの子どもたちが全力でがんばっているのに、ぼくたちは何もやらなくてよいのだろうか、何かできることはないのだろうか、と思いました。
- ◆ODAの使い方について議論してほしい。日本のODAが子どもの教育のために使われるのがとても少ないと思います。
- ◆子どもが団結して物事を考えると問題が解決できるのに、大人の方が解決できず問題がたくさん起きるのは不思議だ。
- ◆一人ひとりの力は小さく限られていると思いますが、大勢で集まれば世界を動かすことができると思います。

### 国会議員のための「世界一大きな授業」

衆議院議員会館

4月24日は、国会議員が「生徒」になり、高校生が「先生」になる「国会議員のための世界一大きな授業」を衆議院議員会館で行いました。岡田副首相をはじめ超党派で国会議員26人が出席。高校生の手作りによるゲーム形式の授業を通して、教育を受けられない厳しさ、格差を疑似体験するなど「生徒」たちはしっかり学びました。その様子はUstreamで生中継し、インターネット配信しました。



録画をご覧ください。YouTube 国会議員のための「世界一大きな授業」で検索 <http://www.youtube.com/watch?v=wGQeolgoW7s>

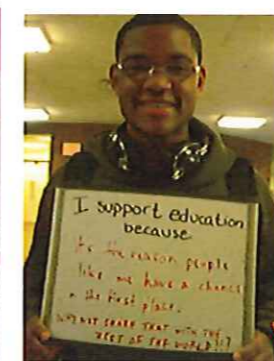
世界で

## 100以上の国と地域の子どもたちの思い、ユネスコ本部に届ける。

世界では100以上の国と地域の子どもたちが、学校生活の楽しさを絵に描いたり、だれもが学校に行けるようにメッセージを書いたり、思い思いのかたちでキャンペーンに参加。5月25日にはパリのユネスコ本部に、世界の参加者から寄せられた、世界中の子どもが教育を受けられることを願う声を届けました。



スーダン



アメリカ



デンマーク

### 世界の子どもたちの声

パリでは、小学生2名がユネスコのイリナ・ボコヴァ事務局長にスピーチをしました。

「私たちは家も洋服も食べ物もあり恵まれています。幼稚園や小学校に行くこともできます。病気になれば治療も受けられます。世界中の子どもも同じように機会を与えられるべきです。世界中の子どもが危険から守られて、みんないっしょに学べて、幸せに生きられるように、世界の国々のリーダーたちに、約束を守ってくださいと働きかけてください」

### 日本の子どもたちの声を

野田首相へ!

### 日本はもっと世界の子どもたちへの教育支援を!

日本では「世界一大きな授業」の後、教育支援の拡大を願う子どもたち約2万人が野田首相あてにメッセージを寄せてくれました。

6月19日、子どもたちが外務省を訪問し、加藤敏幸外務大臣政務官に手渡し、政策に反映されるように伝えました。

キャンペーンを主催するJNNEは、①日本からの途上国への援助は小学校などに対して少額なので、もっと増やすこと。②紛争後の混乱のある国や、より貧しい国への援助に力を入れること、③先生の給料を支援することで教育を受けられる子どもが増えること、④豊かな国の一つとして、国際社会が取り組むグローバルパートナーシップ基金(GPE)にもっとお金を出すことを提言しました。



2013年も

みんなで参加しよう!

### 今も6,700万人の子どもたちが教育の機会を奪われて

学校に行ける子どもは、1999年に比べて5200万人増えました。

しかし今も6,700万人の子どもたちが教育の機会を奪われ、7億5,900万人の大人が読み書きできません。

世界の国々は、2015年までの初等教育の完全普及を約束しています。その約束が果たされるよう、2013年も「世界一大きな授業」を実施します。ぜひご参加ください。また、国会議員への「授業」も開催する計画です。